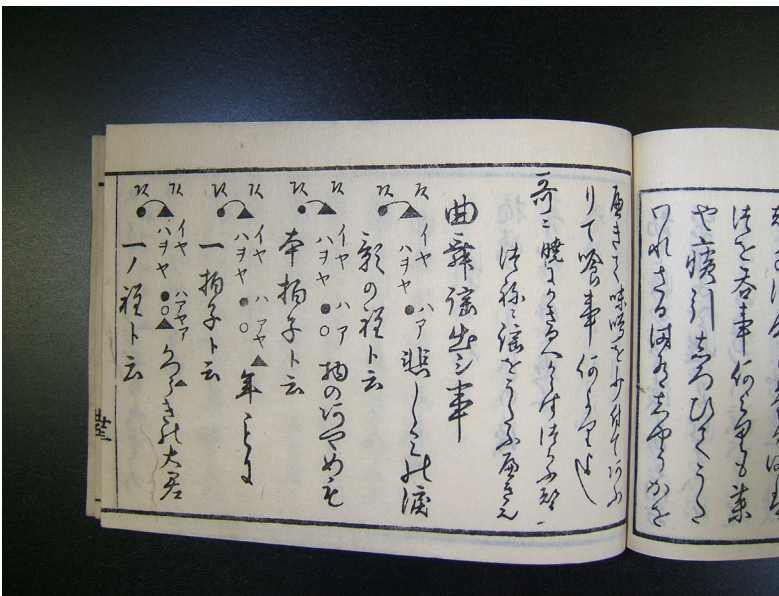
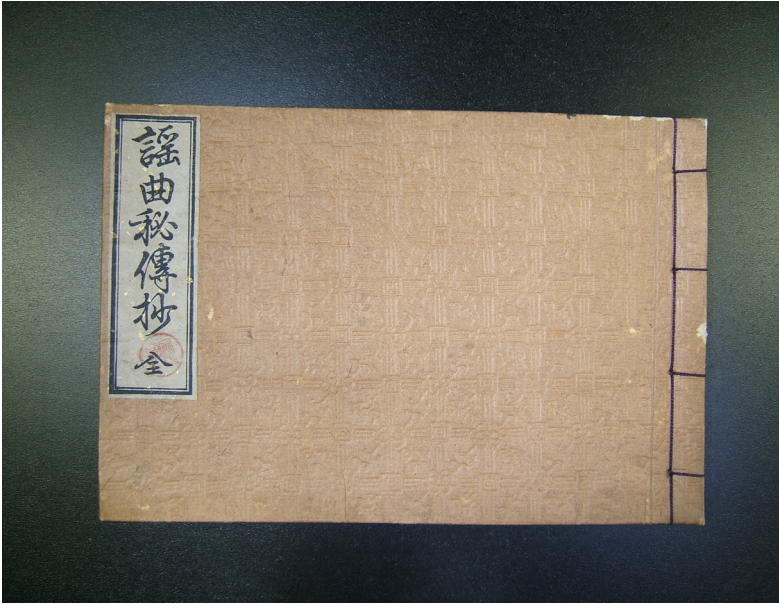


著者不明 『観世謡之抄』

全体は謡の技術や知識にふれた書物であって、拍子についての言及はほとんどない。写真下にあげた「曲舞謡出シ事」は唯一拍子にふれる部分である。謡いだしを「影の程」（半声）、「本拍子」（本間）、「二拍子」（ヤ）、「一ノ程」（ヤア）、「二ノ前」（ヤヲ）、「二ノ拍子」（ヤヲハ）等の用語のもとに、図示している。これは謡伝書の伝統的にみられる記載項目の一つである。



標題 内題…観世謡之抄

標題紙…

奥附…

その他…謡曲秘伝抄 全(題簽)

著者 奥附…

その他の場所…

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…大爪堂

出版年…明治32(1899)

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…三五丁

寸法…13×19 (cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 檜常之助、著作叢行(奥附)。